

江崎 貴大 議員 民進党

選挙権年齢引き下げで本市の有権者数の変化は

問 (1) 今年の夏の参議院選挙から選挙権年齢が20歳以上から18歳以上へと引き下げられた。本市の有権者数はどのように変化し、どのくらいの割合を占めるか。

答 18・19歳合わせ913名増加で割合は2・55%である

総務部長

(2) 今回、選挙権年齢が18歳以上と引き下げられたことで、高等学校など教育機関とは、今現在どのような提携を進めているか。

(1) 28年2月29日現在の人口統計資料の年齢別人口調査票の人数で18歳は437名、19歳は476名で、合わせて913名。割合は、2・55%。

(3) 投票率を上げるため、今後投票所の配置をどのように考えているか。

(2) 10月30日に弥富北中学校で、1月18日に海翔高校で、選挙出前トークを開催した。初めに選挙についての説明を行い、実際に選挙で使用している道具を使い投票所の様子を再現し、投票から開票まで体験をしていただいた。

(4) 期日前投票所の設置はどのように考えているか。

今後とも学校と連携し、選挙出前トークを行っていききたい。

(5) 選挙当日、既存の投票所以外に駅や商業施設などで共通投票所を自治体の判断で設置できるようにする動きがあるが、本市はどのような考えがあるか。

(3) 鎌島投票所と稲吉投票所を統合し、大藤投票所(大藤保育所)とする。

今後は、しばらくの間、現状維持の考えである。

(4) 期日前投票所は、今ままでおり1箇所、仮移転後の場所は、総合社会教育センターを中心に検討をしている。

(5) 今後の動向に注視をしていきたい。

本市の受動喫煙防止に対する取り組みは

問

健康増進法により受動喫煙の防止がうたわれているが、市内の学校及び公共施設での対応はどのようになっているのか。

答 公共施設 屋内は全面禁煙、屋外(出入口)は今後検討

民生部長

本市の学校は建物も含めて敷地内全面禁煙である。

市役所は、市民の出入りが想定される部分は屋内全面禁煙とし、屋内分煙措置として、喫煙コーナーを1箇所設置している。

他の公共施設は屋内全面禁煙としている。

禁煙としている。全ての公共施設における屋外喫煙場所を再度検討する。

答 市長

例えば総合社会教育センターは、すぐ出入口のところで喫煙ができる状況になっているので考えないといけない。

総合福祉センターでも、建物の出入口の近くにベンチまで置いているが、ベンチは必要なものだがたばこを吸うためのベンチになっているので、検討していかなければならない。

問 弥富駅前の路上喫煙に対する本市の考えは

弥富駅前のスペースでの喫煙をどのように考えているか。

受動喫煙の観点のみならず、多数の人がいる中で歩きたばこの危険性、また、町の玄関でもある場所でのポイ捨ては、環境美化の観点からも問題である。

たばこが健康に悪影響ということは吸う人も十分知りながら吸っている。一度私も近鉄弥富駅、JR、名鉄などにおいて、喫煙場所を近所で指定できないか一度要望していきたい。そうした形で、たばこを吸わない方を守っていかなくてはならないのも今の時代だろうと考える。

他の海部地区よりも先駆けて快適なまちづくりを進めていく上で、駅前の路上喫煙に関して考えていく必要があるのではないか。

答 民生部長

モラルを遵守していただきたい。

たばこ健康に関する正しい知識の普及、妊婦への禁煙指導と家族への受動喫煙の指導、吸い殻などのポイ捨て禁止などのモラル向上など、受動喫煙防止の普及啓発に努めていきたい。

答 市長

たばこが健康に悪影響ということは吸う人も十分知りながら吸っている。一度私も近鉄弥富駅、JR、名鉄などにおいて、喫煙場所を近所で指定できないか一度要望していきたい。そうした形で、たばこを吸わない方を守っていかなくてはならないのも今の時代だろうと考える。

たばこが健康に悪影響ということは吸う人も十分知りながら吸っている。一度私も近鉄弥富駅、JR、名鉄などにおいて、喫煙場所を近所で指定できないか一度要望していきたい。そうした形で、たばこを吸わない方を守っていかなくてはならないのも今の時代だろうと考える。